

各診療科における常勤医師1人あたり月平均残業時間の変化についてみると、「救急科」以外では残業時間は増加しているが、「救急科」では平成19年10月の月残業時間が平均47.5時間であったのが平成20年10月の月残業時間は平均43.7時間と短縮している。しかしながら、平成20年10月の残業時間をみると、「救急科」の残業時間は、「脳神経外科」（46.7時間）に次いで2番目に長い状況である。

常勤医師の残業時間が「減少」という割合についてみると、「救急科」（19.4%）が最も高く、次いで「産科・産婦人科」（17.4%）、「整形外科」（17.0%）となった。一方、「増加」という割合は「減少」よりも高く、最も高いのは「外科」（31.2%）で、次いで、「小児科」（29.5%）、「整形外科」（28.9%）となった。「変動なし」が5割強から6割強を占めた。

図表 132 各診療科における常勤医師1人あたり月平均残業時間の変化

	人数	常勤医師・残業時間 平均値		常勤医師残業時間の変化		
		平成19年 10月	平成20年 10月	減少	変動なし	増加
全体	1,827	37.5	38.4	14.6%	58.2%	27.1%
内科	359	37.6	38.6	12.5%	62.4%	25.1%
精神科	45	30.2	33.0	11.1%	64.4%	24.4%
小児科	146	32.9	33.9	13.7%	56.8%	29.5%
外科	234	41.2	43.1	12.4%	56.4%	31.2%
脳神経外科	121	44.5	46.7	13.2%	59.5%	27.3%
整形外科	194	36.4	36.8	17.0%	54.1%	28.9%
産科・産婦人科	167	40.2	40.5	17.4%	55.7%	26.9%
救急科	36	47.5	43.7	19.4%	58.3%	22.2%
その他	523	34.9	35.5	15.9%	57.9%	26.2%
不明	2	65.0	65.0			

(注)・「常勤医師・残業時間・平均値」は1施設あたりの医師1人あたり平均残業時間。単位は「時間」。

・「常勤医師残業時間の変化」は平成19年10月と比べて平成20年10月の残業時間がどのように変化したかの割合。